

# れいんぼー便り⑨

人と人がつながり、支え合う地域をみんなで作るために

## 特別支援教育推進協議会

※この協議会は、小中学校、幼稚園、保育園、教育委員会、健康福祉課、社会福祉協議会等の職員で組織しています。今後も「れいんぼー便り」を通して、子どもたちについての情報を発信していく予定です。

お子さんのことで、気になること、不安なことはありませんか？  
誰にでもよくあることです。こんなことがあったら、お気軽にご相談ください。

### 0歳～就学前

- ・視線を合わせない
- ・言葉の遅れがある
- ・かんしゃくを起こし、泣き続ける
- ・偏食が多い

### 小学生(7歳から12歳ごろ)

- ・学習についていけない
- ・授業中にうろうろしてしまう
- ・順番やルールが理解できない
- ・整理整頓が苦手

### 中学生(13歳から15歳ごろ)

- ・カッとなると手が出やすい
- ・極端に忘れ物が多い
- ・こだわりが強い
- ・会話が一方的

その他、行き渋りや子育ての悩みなど  
保護者のみなさんのご相談をお受けしています。

教育委員会 子ども課  
☎77-6205

健康福祉課  
☎77-2266

社会福祉協議会  
☎77-4877

## 相談して良かったよ

### ちょっとの勇氣

幼稚園の子どものもので、「ちょっと気になるのだけど、個性の範囲？相談するべき？するならどこに？」と悩んでいた時に小学校で講演会を聞いて、やはり何か心に引っかかり、思い切って子ども課に相談しました。

ゆっくり話を聞いてもらったり、今後の見通しを話し合ったり、本当にほっとしました。また、専門の先生にも幼稚園での様子を見てもらい、小学校入学に向けて子どもにとって安心できる場を一緒に考えることができました。それまで子ども達に「なんでできんと？」と言っていたのが、「どうやったらできるか考えよう」と言うことが増え、親も子ども達も変わってきました。

勇氣を出すことで、子どもはもちろん家族も気持ちがお楽になり、相談して本当に良かったです。

- ★学校や保育園で子育てや教育の講演会を行っています。ぜひ聞いてみてください。
- ★町内保育園だけでなく、町外の幼稚園、保育園への訪問もできます。
- ★お子さんが安心できる場や方法を一緒に考えます。お気軽にご連絡ください。

### 少しの進歩

離乳食を始めた頃から偏食がひどくて、とても困っていました。乳幼児健診で相談したところ、栄養士さんから舌触りや見た目の工夫などアドバイスをもらいました。また臨床心理士の先生にも話を聞いてもらい、気持ちが楽になりました。

保育園に入ってから保健師さんや専門の相談員さんに給食や活動の様子も見てもらいながら、今も継続して相談しています。少しずつ食べられるようになってきていますが、成長に合わせていつでも相談できるので良かったです。

★町には様々な相談員がいます。健康福祉課や子ども課など連携して対応していますので、お気軽にご相談ください。

